

令和3年4月8日

東京2020オリンピック聖火リレー
聖火ランナー各位

島根県知事 丸山達也

春光うららかな好季節となりました。皆様にはご健勝にてご活躍のことと存じます。

聖火ランナーの皆様には、2月には中止もあり得る旨の説明をし、様々な不安やご心配をおかけしたところですが、現在与党において、追加の経済対策や補正予算の検討の動きがある中で、聖火リレーの実施を完全に拒絶することが、県内の飲食事業者等への国の支援の実施にマイナスの影響を及ぼしかねないと判断し、聖火リレーは実施することとしました。

現在、県民の皆様のご理解ご協力により、県内での新型コロナウイルス感染拡大を抑えることができていますが、全国的に感染拡大局面にある中では、県民の皆様に対して、これからも行動の自粛や制限をお願いすることが避けられない状況です。

一方、3月25日にスタートしたオリンピック聖火リレーは、スポンサーによる音楽イベントのような演出や盛り上げが、そういった行動自粛や制限と矛盾するため、先日、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会を訪問し、聖火ランナー中心の聖火リレーとなるよう求めたところです。

要請に対し組織委員会からは、スポンサーを隊列編成から除外することは、聖火リレー運営費用を負担されているスポンサーとの関係から困難であり、音楽イベントのような内容や音量レベルについては、パートナー企業に伝えて相談する旨の回答がありました。

今後は、組織委員会とともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、島根県での聖火リレーが無事実施できるよう努めてまいりますので、聖火ランナーの皆様におかれましても、組織委員会をお願いしている実施前・当日の体調管理や行動管理を遵守され、思い出に残るリレーをしていただきますようお願いいたします。